

Sustainable Report No.139

# 放置自転車から学ぶ4R



**Satisfactory**

## ■ 自転車廃棄の現状

- 走行時に温室効果ガスを排出しない地球環境に優しい自転車だが、一方でその放置は長年の問題であり、全国の**放置自転車の撤去総数は年間102.8万台**にのぼる。（平成30年度値、国土交通省調査）
- 撤去された放置自転車の内、持ち主への**変換率は6割**にとどまり、引き取りのないものは処分対象になる。
- **撤去・保管・廃棄における自治体の負担は大きく**、撤去保管料でまかなえずに値上げや税金の投入が発生している。また、大量廃棄による**環境負荷も懸念**される。

## ■ 関西の主な自治体の放置自転車対応

自治体名	撤去保管料	返還率 (2020年度)
京都市	3,500円 (政令指定都市最高値)	74.2%
堺市	3,000円 (22年度2倍に値上げ)	64.5%
大阪市 (放置数全国2位)	2,500円	58.5%
神戸市	2,500円	47.4%

出所：日本経済新聞

## ■ 自転車撤去作業の様子



出典：世田谷区

## 廃棄から再利用へ

## ■ 千葉大学での取り組み

- 千葉大学は、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を2005年に取得。**教育の一環として学生主体の運用**を掲げて活動。2007年度から、**中古自転車の回収・譲渡活動**を実施。
- 卒業や故障で不要になった自転車を年度末に無償で回収。状態の良いものは専門業者の修理を受け、ほぼ修理費用のみの格安価格で、新入生、留学生、教職員など学内関係者に販売される。
- 2021年4月は譲渡自転車リストに170名以上から購入の申し込みがあり、抽選後に61台を譲渡。
- 学生15名が数か月の準備を重ね、コロナ禍で混雑を避ける手法の変更にも対応。修理だけでなく点検や防犯登録解除、公正な運営管理など、**活動継続にはプロセスの効率化も要する**のではないかと。

## ■ 2019年度の譲渡イベントの様子



出典：国立大学法人千葉大学／PRTIMES

## ■ 千葉大学環境ISO学生委員会



- 本活動の中心である千葉大学環境ISO学生委員会は2003年に設立され、学生約200名が所属する。
- 2009年にNPO法人格を取得し、企業協力のもと里山保全活動や、地域の学校へ環境授業を行う。
- 地域社会だけでなく、学内の環境活動も主導する。

出典：千葉大学環境ISO学生委員会

## 自転車を消耗品にしないために新たな選択肢を

## ■ シェアサイクルの活用

- 不要自転車の管理と再利用には、撤去手数料や中古販売の価格改定、または運営の効率化が必須。**再利用品への品質不安から価値が劣後**する傾向にあり、比較的后者に可能性がある。
- 所有を前提とせず**シェア利用に移行することで、事業性が高まり継続に寄与**のではないか。
- 既に日本にはシェアサイクル市場が広がり、モビリティの連携もますます柔軟になることから、不要自転車もIoTによって**新しい所有者ではなくリアルタイムで利用者に繋がるサービス**が期待される。

## ■ シェアサイクル4社



(App Storeに検索表示される各社アイコン)

## ■ 様々な交通手段が1つになったアプリ『Ringo Pass』



出典：JR東日本/国土交通省

## 放置自転車責任への強化へ

## ■ 参照・引用資料

- 国土交通省, 「駅周辺における放置自転車等の実態調査の集計結果」, 2020年3月 (<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/koutu/content/001476309.pdf>)
- 世田谷区, 「世田谷区の放置自転車対策」, 令和3年7月1日 (<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/sumai/008/003/d00005196.html>)
- 千葉大学, 「卒業生から新入生や留学生らへ 中古自転車61台を4000円でリユース販売」, 2021年5月10日 (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000489.000015177.html>)
- 千葉大学環境ISO学生委員会 公式サイト, 2022年4月25日参照 (<http://chiba-u-siso.xrea.jp/chibasiso/>)
- 国土交通省, 「シェアサイクルの取組等について」, 2021年1月 (<https://www.mlit.go.jp/toshi/content/001390576.pdf>)

## ■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先： info@sfinter.com



株式会社サティスファクトリーは、SDGsに係る人材教育プログラム『**KIZUNA ESD**』を企業に提供しております。全ての従業員によるサステナブルレポート作成やSDGs映画上映会の実施など、各種運用の導入と内製化を支援いたします。

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

### — サステナブルレポートとは？ —

サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマをとりあげ、サティスファクトリー社員が調査報告書を作成・発信しています。



全従業員で  
毎週更新中